

株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで

定時株主総会 毎年9月

基準日 毎年6月30日

中間配当を行う
場合の基準日 毎年12月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(お問い合わせ先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び
全国各支店で行っております。

住所変更等
のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため、特別口座を開設
されました株主様は、特別口座の口座管理機関である
三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の
支払について 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

公告方法 電子公告により行います。ただし、電子公告によることが
できない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に掲載する方法により行います。

公告掲載
サイトアドレス http://www.garage.co.jp/ir/financial_001.html

上場取引所 **JASDAQ** (大阪証券取引所 JASDAQ市場)

銘柄コード 4819

 **Digital Garage**
Providing New Contexts

株式会社デジタルガレージ

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南三丁目5番7号

【お問い合わせ先】 ☎03-6367-1111 ✉ dg4819.ir@garage.co.jp

ホームページのご案内

当社ホームページではIR情報のほか、デジタルガレージグループに関する情報をリアルタイムで紹介しております。ぜひご覧ください。



株式会社デジタルガレージホームページ
<http://www.garage.co.jp/>



株主・投資家の皆様へ
<http://garage.co.jp/ir/>


Digital Garage

Lean Global

Providing New Contexts

Business Report

第18期 2013年6月期 第2四半期

コンテキスト

私たちは『&』によって新しいビジネスを創造します。

新中期3ヵ年計画の **Lean Global Concept**

Providing New Contexts

デジタルガレージ(DG)は「コンテキストカンパニー」です。

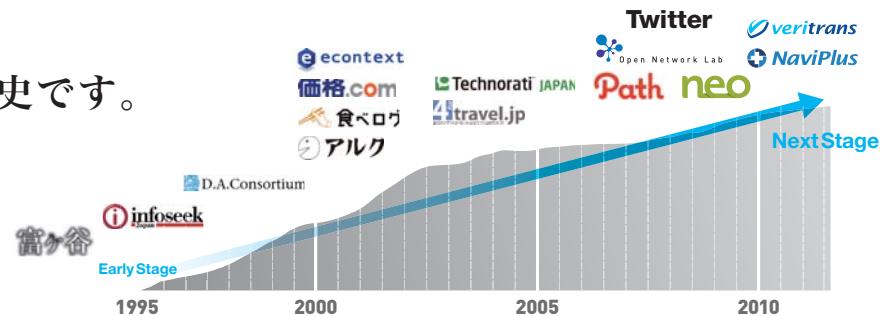
「コンテキスト」は普通「文脈」と訳されますが、学問の世界では、コミュニケーションをとる二者の間で、その関係性や、背景、文化、思想等のベースとなる認識(共有情報)を「コンテキスト」と呼んでいます。

マーケティングや言語学、情報工学、人工知能等、多くのカテゴリーで

「コンテキスト」は今やキーワードになっています。

DGの歴史は、日本のインターネットの歴史です。

ファーストペンギン・スピリッツを実践し、「日本で初めて」を半歩先に”を合言葉に、社会に役に立つ、たくさんの「日本で初めて」を創造し続けてきました。



Lean Globalで加速する、デジタルガレージ。

DGは、3つの技術——IT(Information Technology)、MT(Marketing Technology)、FT(Financial Technology)——を用いることによって、インターネット時代の新たな「コンテキスト」を生み出しています。本来は専門性の異なるこれらの技術をシームレスに活用するチカラが、デジタルガレージのコアコンピタンスです。

また、DGは3つのセグメントで事業を展開しています。1つ目は、投資育成事業を行う「インキュベーション セグメント」。2つ目が広告プロモーションやデジタルマーケティング事業を手がける「マーケティング セグメント」。そして3つ目が、国内最大級のオンライン決済事業を展開する「ペイメント セグメント」です。

Lean Global の実践を通して、グローバルな中期成長を実現します。



Q Lean Global 策定の目的を教えてください。

A 全世界で起きているインターネットビジネス環境の変化に対応するためです。

Lean Global (リーン・グローバル) とは、物事がより早く・小さく・タイトになることです。それによってイノベーションのコストが下がりコンパクトに物事を進めることができます。グローバルという意味では、インターネットやサプライチェーンで世界がより小さくなっています。その為、世界中に散らばったオペレーションを密にまとめることができます。だからこそ、新時代のグローバルにはリーンスタートアップの要素は不可欠なのです。

Q どのようなビジネスモデルで Lean Global を実現させるのですか？

A 私たちの基礎となるビジネスモデル、Enabling Platform の強化により実現可能です。

インターネットビジネスにおいて、広告事業と課金(決済)事業は重要な収益基盤です。この収益基盤をベースとして Twitter や Path を

始めとした時代の先端に行くサービスの投資・育成事業を展開することが、DG のビジネスモデルとなっています。このビジネスモデルを『Enabling Platform (イネイブリング・プラットフォーム)』と呼んでいます。

Q Lean Global をスローガンに掲げた 2013 年 6 月期 上期の業績は？

A 計画を上回る進捗で、業績上方修正を行いました。

2013 年 6 月期 第 2 四半期連結累計期間においては、ペイメント事業は、ベリトランス(株)の連結加入もあり順調に事業を拡大しており、マーケティング事業は、インターネット広告を中心に堅調に推移したことから、当社グループの連結売上高は 13,846 百万円(対前年同期比 119.9% 増)、営業利益は 472 百万円(対前年同期比 56.1% 増)となりました。また、経常利益は 1,167 百万円(対前年同期比 75.5% 増)となり、四半期純利益は 913 百万円(対前年同期比 49.6% 増)となりました。

用語解説

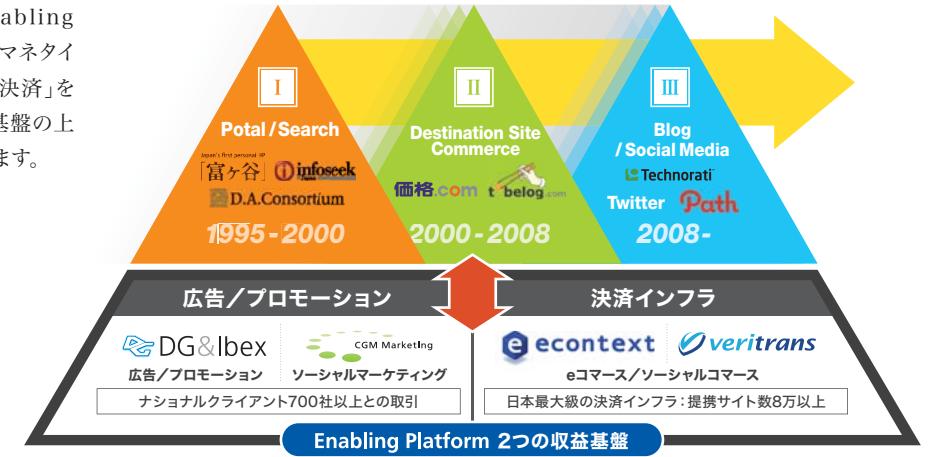
リーンスタートアップ

DG の米国子会社 Neo Innovation, Inc. のジェネラルパートナーでもあるアメリカの起業家 エリック・リース氏が 2008 年に提唱した、起業や新規事業などの立ち上げ(スタートアップ)のためのマネジメント手法のこと。リーンとは「無駄がなく効率的」という意味で、事業家の思い込みで顧客にとって無価値な製品やサービスを開発してしまうことに伴う、時間、労力、資源、情熱の無駄をなくするための方法論。

DG & Enabling Platform = Lean Global 「収益基盤」

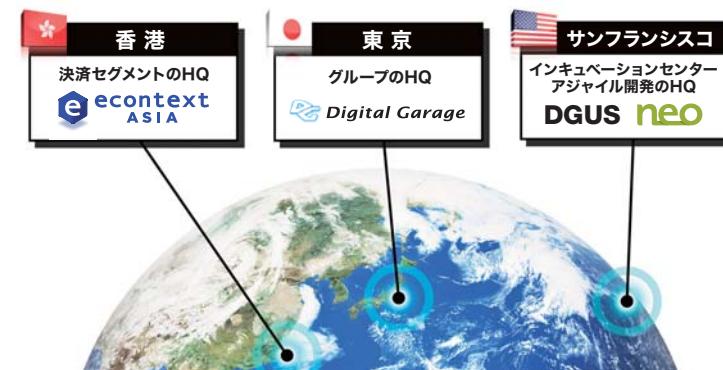
Fig.1

DG のユニークなビジネスモデル「Enabling Platform」。インターネットビジネスのマネタイズ(収益化)に必須の 2 要素「広告」と「決済」を自社のコアビジネスとして展開し、その基盤の上に新たなインターネットを創造して参ります。



DG & 世界3拠点 = Lean Global 「グローバル3極展開」

Fig.2



Lean Global の要となるキーワードは、「3極体制」です。これまで DG は、グループヘッドクォーターがある東京に加え、米国サンフランシスコの Digital Garage US, Inc. の傘下にアジャイル開発会社 Neo Innovation, Inc. (旧 New Context, Inc.) を設立し事業展開してきました。決済事業においては、香港にヘッドクォーター「econtext ASIA Ltd.」を設立し、3極ヘッドクォーターでクイックな意思決定を行い、「投資育成」「事業・技術支援」「収益化」から成る DG のビジネスモデルを Lean かつ Global に展開しています。

用語解説

アジャイル

意味は俊敏。市場やユーザーの反応を見ながら、迅速にソフトウェア開発・改良を重ねていく開発手法のこと。

ヘッドクォーター(HQ)

特定の地域での事業展開を統括する司令部。日本の DG 本社と密に連携をとり、地域での事業展開を推進していく。

Digital Garage & 決済プラットフォーム = Lean Global 「アジア展開」
Providing New Contexts

Fig.3



2012年9月に香港に設立した決済事業子会社「econtext ASIA Ltd.」は、DGグループのビジネスモデルを支える決済事業のグローバル展開に向けたヘッドクォーターです。この傘下にあるペリトランスとイーコンテキストが、それぞれ日本市場で培ってきた高品質の決済ノウハウと最先端の決済テクノロジーを結集し、それぞれの国や地域の商習慣に合わせてカスタマイズした決済プラットフォームをアジア地域からグローバルに展開していきます。すでにペリトランスは、インドネシアに決済事業の合併会社を現地企業と設立しており、本格的にサービスを開始しています。

Digital Garage & ビッグデータ = Lean Global 「デジタルマーケティング」
Providing New Contexts

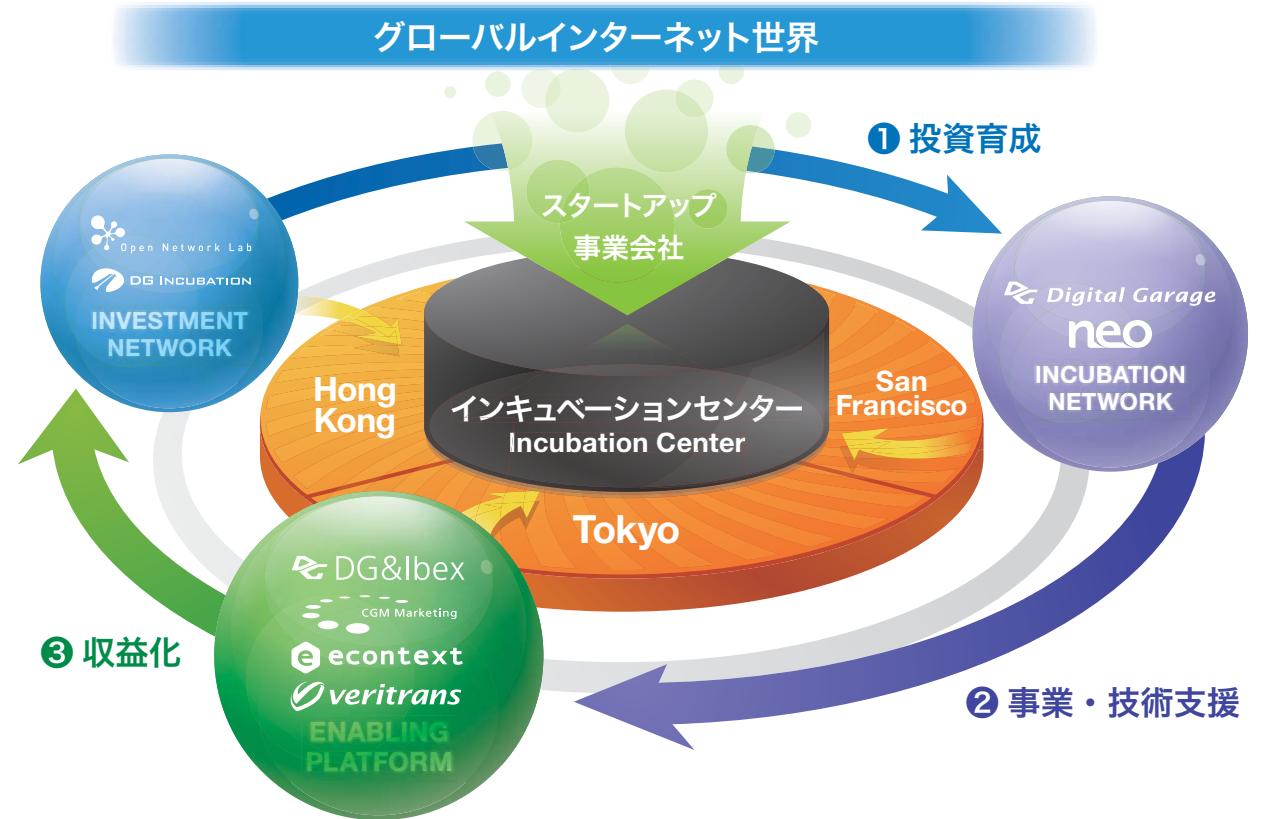
Fig.4

この度DGは、(株)電通と資本・業務提携を行いました。電通との提携の狙いに、電通の持つ膨大なビジネスインテリジェンスとDGグループの保有する決済/メディアデータを活用した、デジタルマーケティング事業の展開があります。DGは、ペリトランスのグループ入りによって決済事業を通じた国内トップレベルの年間7,000億円規模の流通総額に相当するショッピングデータを保有しています。また、グループ会社である(株)カカコムでもショッピングデータを蓄積しています。個人情報保護するかたちでこれらを活用した商品リコメンドやターゲット広告といった新たなオーディエンスデータ事業を、マーケティング事業の成長戦略の柱と位置付けております。



Global Incubation Ecosystem

継続的に機能するグローバル・インキュベーション・エコシステムを構築します。



用語解説

リコメンド

オンラインショップの閲覧履歴や購買履歴から消費者の好みを分析し、好みの商品等を表示する機能。Webサイトを利用する個人の嗜好にあわせた商品を推薦するため、不特定多数に対して表示される従来のネット広告に比べて、高い収益性が期待される機能。

オーディエンスデータ

別名ビッグデータ。Webページに訪れたユーザーの閲覧履歴・購入履歴等の集積データ。次世代型の広告手法として、今後の営業活動における活用方法について現在最も注目を集めているデータ群。

1 米国子会社のNeo Innovation, Inc. が サンフランシスコで「Lean Startup Conference」を開催



最先端のソフトウェア開発支援事業を展開するNeo Innovation, Inc.が、2012年12月3日と4日にサンフランシスコで開催した「Lean Startup Conference」は、大盛況のうちに終了しました。インターネットビジネスの起業家のバイブルとなりつつある「The Lean Startup」の著者でNeoのジェネラルパートナーであるエリック・リース氏がホストということもあり、スタートアップ企業関係者から大企業

の新規事業担当者までさまざまなバックグラウンドの人々が参加し、会場は立ち見が出るほどの熱気に包まれました。これに加えて、同時に行ったインターネット中継は世界中から1万人以上の方々が視聴しました。Neoは、今回のカンファレンスに参加した企業担当者などをコンタクトポイントとして、Lean Startup手法に基づくソフトウェア開発支援事業を世界展開して参ります。



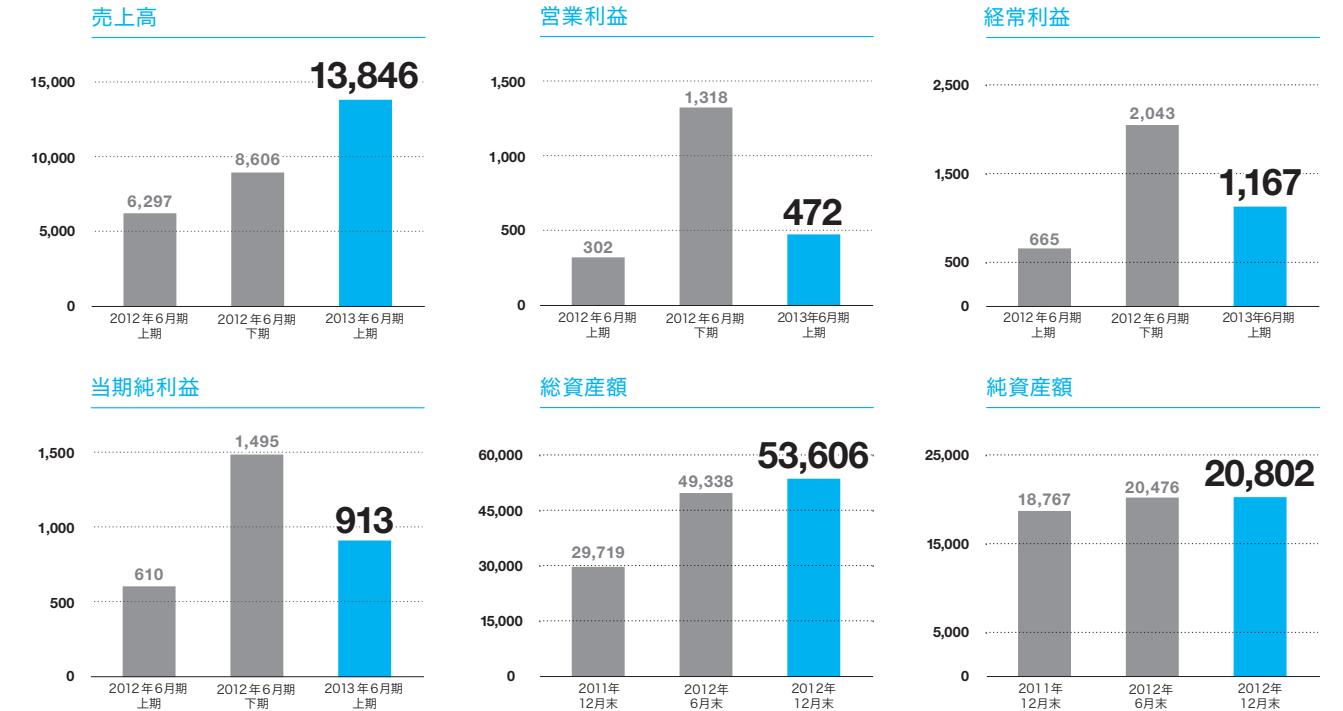
カンファレンス会場の様子



エリック・リース氏

2 三菱食品とデジタルガレージ、 食品のオンライン販売会社を合併で設立

DGは三菱食品(株)と“食の楽しさを追求する”新会社、「(株)FOOZA」を設立しました。三菱食品が強みとする生活者のライフスタイルにきめ細かく合わせた商品の提案力と、DGが得意とするソーシャルメディアを活用したマーケティングやオンライン決済サービスを組み合わせ、「食」に感度の高い主婦層をメインターゲットとした食品のオンライン販売サイトサービスを提供します。



econtext ASIA(香港HQ)に国際会計基準 (IFRS) 導入

決済子会社の決算期統一/グループ管理強化しアジア展開を加速

ベリトランス及びその連結子会社4社の決算期を3月末から6月末へ変更。

決算期変更会社については本第2四半期に6ヵ月分を變則的に計上。



財務諸表(要旨)

連結貸借対照表(要旨)

科目(単位:百万円)	2012.6月末	2012.12月末	前期末比(金額)
流動資産	28,005	31,124	+3,119
現預金	12,308	11,814	-494
未収入金	7,577	10,295	+2,718
金銭の信託	3,404	3,662	+258
営業投資有価証券	1,904	2,327	+423
固定資産	21,333	22,482	+1,149
投資不動産	2,677	2,543	-134
のれん	12,104	12,161	+57
資産合計	49,338	53,606	+4,268
流動負債	28,505	23,593	-4,912
預り金	14,956	18,758	+3,802
有利子負債	10,740	2,562	-8,178
固定負債	355	9,211	+8,856
有利子負債	183	9,047	+8,864
純資産	20,476	20,802	+326
利益剰余金	4,505	5,201	+696
負債・純資産合計	49,338	53,606	+4,268

決済事業の拡大

投資事業の拡大

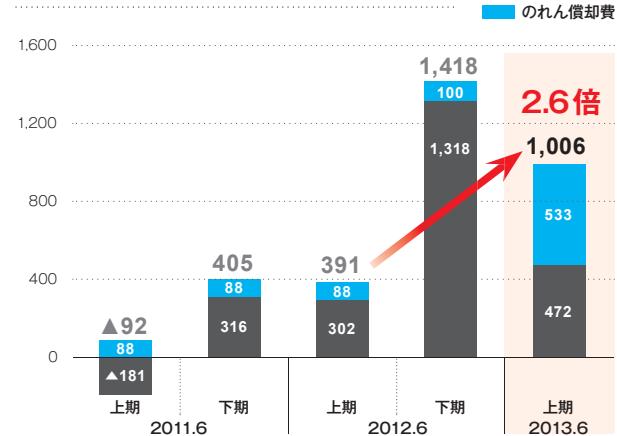
短期借入から長期借入へ

借入金を長期に切り替えたことにより、財務が健全化

自己資本比率

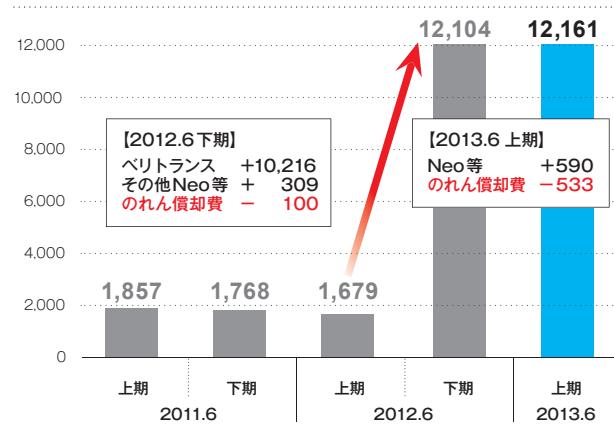
41% (12/6) → 38% (12/12)

のれん償却前営業利益(単位:百万円)



2013.6期上期ののれん償却前営業利益は、前年同期比2.6倍と大幅な増益を達成

のれん残高



ペリトランス及びNeoのM&Aによるのれん残高が増加

会社概要

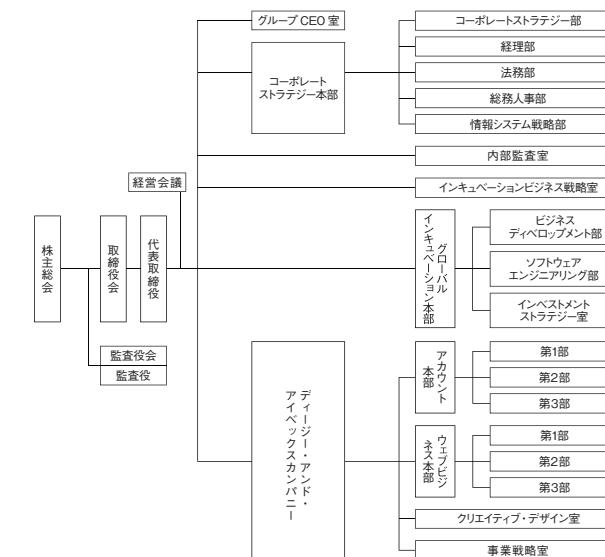
会社概要(平成24年12月31日現在)

商号 株式会社デジタルガレージ
 設立 平成7年(1995年)8月17日
 従業員(単体) 244名
 (連結) 470名

役員(平成24年12月31日現在)

代表取締役 グループCEO	林 郁	取締役	伊藤 穰一
取締役	六彌太 恭行	取締役	藤原 謙次
取締役	岩井 直彦	取締役	岡本 晋
取締役	曾田 誠	常勤監査役	牛久 等
取締役	安田 幹広	監査役	坂井 眞
取締役	踊 契三	監査役	井上 準二
取締役	田中 将志	監査役	牧野 宏司

組織図(平成25年1月1日現在)



株式情報(平成24年12月31日現在)

発行可能株式総数 600,000株
 発行済株式総数 219,087株
 議決権総数 217,803個
 株主数 15,917名

大株主(平成24年12月31日現在)

株主名	持株数(株)	当社への出資状況	
		持株比率(%)	持株比率(%)
林 郁	33,747	15.49%	
バンク オブ ニューヨーク ヨーロッパ リミテッド	13,170	5.10%	
TIS株	7,419	3.41%	
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	3,318	1.52%	
(株)ジャストプランニング	3,276	1.50%	
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	3,091	1.42%	
クレディ スイス アーゲー チューリッヒ レジデント トウキョウ	2,875	1.32%	
ビービーエイチ グラビティ イクイティ ファンド	2,706	1.24%	
ニッコー エイエム インベストメント トラスト ケイマン	2,706	1.24%	
MSIP CLIENT SECURITIES	2,060	0.95%	
チェース マンハッタン バンク ジーティーエス クライアント アカウント エスクロウ	2,046	0.94%	

※持株比率は自己株式(1,284株)を控除して計算しております。

株式分布状況(平成24年12月31日現在)

